

# 情報モラルについて考える道徳授業 (第4学年)

ねらいとする価値

友達のことを互によく理解し、信頼し、助け合うことで、健全な仲間集団を積極的に育成していくことが大切である。そのためには、友達のよさを発見することで友達のことを理解したり、友達とのよりよい関係の在り方を考えたり、互いに助け合うことで友達の大切さを実感したりすることが大切である。

資料

「いっしょに遊ばない」

(東京書籍 新しい道徳4)

ねらい

友達と互いに理解し、信頼し、助け合って友情を深めていこうとする心情を育てる。

## 授業のなかれ

○自分のことを優先してしまい、友達と楽しく遊べなかったことを話す。

○「いっしょに遊ばない」を読んで、感じたこと、考えたことについて話し合う。  
・ゲームをしているときのヒロシと鬼ごっこをしているときのダイスケは、どんな気持ちでしょう。  
・ユキツグが「これじゃつまらないよ。」と言ったのは、どんな気持ちでしょう。  
☆ヒロシとダイスケは、それぞれ、自分のしたことを振り返って、相手にどんなことを伝えたのでしょうか。

○「SNSで交流するときは」の動画を見て、情報モラルについて考える。

○友達との関わり方について振り返り、これからの自分についての思いをもつ。  
・どんな友達とも楽しく遊ぶために、あなたが気を付けていることは何でしょう。

## ☆家庭で話題にしていきたいこと

学校や放課後の時間の友達との関わり方について、日頃から話題にしていきたい、友達とのやりとりでどのようなことが起こっているのか、興味をもって聞いてみてください。

また、トラブルを未然に防ぐという観点から、子供同士の SNS でのやりとり（誰と・どんな内容かなど）を、日頃から保護者の目で見確認を行うことをお願いします。